

2010年11月15日

日立のインターネットバンキング共同利用サービス「FINEMAX」で 「RSA FraudAction フィッシング対策サービス」を提供開始

株式会社日立製作所(以下、日立)はこのたび、ネットワークバンキング共同センタサービス FINEMAX(*1)において、RSA セキュリティ株式会社(代表取締役社長:山野 修/以下、RSA セキュリティ)の「RSA FraudAction フィッシング対策サービス」(*2)の提供を開始しました。本サービスはファーストユーザとして、株式会社北洋銀行(代表取締役頭取:横内 龍三)が採用し、2010年11月15日に稼動しました。

*1 FINEMAX(ファインマックス):日立が提供するネットワークバンキング共同センタサービス

*2 RSA FraudAction(アールエスエー・フロードアクション)フィッシング対策サービス:不正サイトの閉塞と、検知を行うサービス

FINEMAX では、安全かつ利便性の高いインターネットバンキングサービス実現を目的にさまざまな認証強化機能を提供しており、これまでも、RSA セキュリティの「RSA SecurID ハードウェアトークン」(*3)「RSA SecurID ソフトウェアトークン携帯電話版」(*4)、株式会社日立ソリューションズ(以下、日立ソリューションズ)の「ケータイ OTP」(*5)、シングルサインオン機能の提供等、サービスの拡充を図ってきました。今回、金融機関様に選択いただくセキュリティ強化サービスの1つとして、不正サイトの閉塞と、不正サイトの検知を行うサービスを加えることとなりました。日立は今後も、多様化するお客様のニーズと増大するネットワークセキュリティの脅威に対する最適なサービスを提供していきます。

*3 RSA SecurID(アールエスエー・セキュアアイディ)ハードウェアトークン:60秒に1回変化する6桁の数字を表示するキーホルダー型の小型表示機

*4 RSA SecurID ソフトウェアトークン携帯電話版:携帯電話上で60秒に1回変化する8桁の数字を表示するソフトウェア

*5 ケータイ OTP:日立ソリューションズが開発したワンタイムパスワード

■ 「RSA FraudAction フィッシング対策サービス」の特徴

- ・ 24時間365日体制の監視/検出の対応。
- ・ 33万以上の不正サイトの閉塞実績(2010年9月1日現在)。
- ・ 15言語に対応。
- ・ 世界のISPと強調し、不正サイトをより早く閉塞。

■ **他社所有商標に関する表示**

- ・ RSA、SecurID、および FraudAction は RSA Security Inc.の登録商標です。
- ・ その他文中に記載している社名・商品名は各社の商標または登録商標です。

■ **日立「FINEMAX」に関するホームページ**

<http://www.hitachi.co.jp/FINEMAX/>

以上